

栄養対策チーム

【活動目的】

すべての病気において、栄養管理をおろそかにすると治療の効果が減じてしまったり、合併症や副作用を引き起こすリスクが高まります。また栄養状態が悪いと床ずれ（褥瘡）ができやすい状態になります。他にも食べ物や飲み物がうまく飲み込めないことにより脱水症状、誤嚥性肺炎など生命にかかわる異常を引き起こすことがあります。

当院の栄養対策チームは、低栄養など栄養管理の必要な患者さんに、栄養評価をおこない、栄養計画の検討や提案などの栄養サポートをおこなう NST グループと、患者さんに対しての褥瘡の発生予防と治療に関する提案や、入院患者さんの褥瘡発生率を減少させる活動をおこなう褥瘡対策チーム、口から食べる機能に何らかの異常を起こしている患者さんに、摂食嚥下障害の診断から迅速な対応をおこない、少しでも改善でき食べる楽しさを支援する摂食嚥下グループが、合同で活動をおこなっています。栄養管理を必要としている患者さんに、各専門スタッフがそれぞれの知識や技術を出し合い、最良の方法で栄養支援をおこなうために活動しています。

【構成メンバー】

チームの構成メンバーは

医師 6 名、薬剤師 1 名、管理栄養士 1 名、言語聴覚士 1 名、看護師 10 名（摂食嚥下認定看護師 1 名）、医事課職員 1 名で、患者を各々の専門分野でサポートすべく体制を整えています。

【年間目標】

1. NST チーム

- ①他職種と連携を図り、有意義な NST 回診を実施し、患者・家族にとって効果的な栄養管理を行う。
- ②患者個々の状態に合わせた栄養管理を行うとともに、栄養管理方法についての知識を深める。
- ③NST 研修課への参加推進
- ④NST 介入基準シートを用いたアセスメント体制を確立させる。

2. 褥瘡対策チーム

- ①褥瘡発生率が増加しないようにする。
- ②褥瘡カンファレンスを行い、褥瘡発生患者に対する褥瘡予防計画、処置・ケアを検討し、適切なケアを提供する。

3. 摂食・嚥下チーム

- ①日帰り検査入院を継続して行い、その定着と充実化を図る。
- ②摂食・嚥下ラウンドを実施し、検査対象患者を増加させる。

【年間計画】

1. NST チーム

- ①毎週火曜日に NST 回診を実施し、カンファレンス記録の記載および病棟スタッフと情報共有を図る。
- ②製薬会社の協力を得て、1 回/月の頻度で NST 勉強会を開催し、知識を深める。
- ③NST 研修会に参加できるよう推進する。
- ④NST 介入基準シートを用いて患者のアセスメントを病棟で実施する。
 - ・ NST 介入アセスメントのチェックリストを作成し、病棟で使用する。
 - ・ 毎月、アセスメントを行った患者数を NST チームメンバーで集計し、状況の把握と評価を行う。

2. 褥瘡対策チーム

- ①エアマットの適正な管理と使用の実施および実施状況の評価を行う。
 - ・ 院内購入済エアマットの作動メンテナンスを実施する（長期入院患者使用中のエアマットのメンテナンスを今年度中に終了）。
 - ・ レンタルエアマットの借用・返却が適切に行われているか、1 回/月 病棟内で点検する。
 - ・ エアマット使用患者に適切に使用されているか、点検や使用の指導・評価を行う。
- ②褥瘡カンファレンスの実施を推進する。
 - ・ 院内褥瘡発生患者は必ず委員会内でカンファレンスを行う。チームメンバーはカンファレンス実施

の指導・支援を行う。

- ・院内発生時の情報は、皮膚科医長より師長→チームメンバー→褥瘡患者入院病棟の栄養対策チーム部会委員へ共有する。
- ・褥瘡患者入院病棟の栄養対策チーム部会委員は、褥瘡回診記録用紙を記載し、委員会内でのカンファレンスにて事例提供する。

③褥瘡に関する勉強会の実施

- ・全職員対象勉強会（1回/年）に協力する。
- ・栄養対策チーム部会内で勉強会を実施する。

3. 摂食・嚥下チーム

①日帰り検査クリティカルパスの使用と活用の開始

- ・使用の評価と必要時修正を行う。
- ・検査前の食事見学や歯科診察の結果を判断し、充実した診療の提供を行う。

②第4週木曜日にベッドサイドラウンドを行う。

- ・栄養対策チーム部会内でラウンド対象患者の病棟、情報等をメンバーに周知させる。
- ・病棟看護師とともに口腔ケアなどを実践し、嚥下チーム内でのカンファレンスを行って病棟へのフィードバックを行い、技術向上や嚥下検査対象患者の増加を図る。

【活動報告（平成28年度）】

1. NSTグループ

- ①医師・看護師（病棟看護師）・栄養士・薬剤師・事務職員と連携し、NST回診を実施した。
 - ・介入件数：53件 うち新規介入件数：24件 回診件数：119件
- ②「平成28年度 中国四国グループ内チーム医療推進のための研修（NST）」
 - ・栄養士が参加し、委員会内で伝達講習を行った。日本静脈経腸栄養学会 NST 専門療法士受験資格取得に必要な研修でもあるので、キャリアアップにつながる研修と考え参加を推進している。
- ③院内職員に、NSTに関する勉強会を企画し実施した。
 - ・NST勉強会の開催：6回 参加人数 合計 173人（2月末現在）
- ④「看護師にわかりやすいNST介入基準」を作成し、病棟看護師による、入院患者のアセスメントの指標として利用を開始した。

2. 褥瘡対策グループ

- ①入院患者に使用するエアマットの適正管理を実施した。患者アセスメントを行い、適切に使用することで除圧効果が図れ、褥瘡発生を防ぐことができた。
- ②褥瘡カンファレンスを実施した。
 - ・褥瘡回診記録用紙を作成し、カンファレンスに必要な情報収集を行い、委員会内で症例検討カンファレンスを実施した。カンファレンス件数：12件

3. 摂食・嚥下

- ①摂食嚥下障害に関する勉強会を実施した。
 - ・院内勉強会実績：摂食機能療法について 40名参加
食べることをささえる院内研修 27名参加
 - ・院外勉強会実績：食べることをささえる 2回開催（8月、11月）
- ②摂食療法を実施した。
 - ・平成28年度実績 600件程度
- ③VE, VF 検査の実施を行った。
 - ・VE 40件 VF 83件